

## 美術科授業案

日時 平成27年7月3日(金) 1校時

生徒 3年C組 男子13名 女子21名 計34名

授業場 美術室

授業者 更科 結希

### 1 題材名 「Answer Art～作品の声を聴く～」(鑑賞・表現)

### 2 題材について

#### (1) 題材観

美術の創造活動には、生徒一人一人が自分の心情や考えを生き生きとイメージし、それを造形的に具体化する表現活動と、表現されたものなどを自分の目で直接とらえ、よさや美しさ、作者の心情や考えなどを感じ取り味わう鑑賞活動がある。表現活動と鑑賞活動は常に連動し、より良い創造活動へ導くことが求められている。本題材では、鑑賞と表現を融合させた創造活動の設定と、それを促すための主題の設定に着目し構成している。

学習指導要領では、「A表現(1)」に「対象を深く見詰め感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出す」ことや「主題などを基に創造力を働かせ、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること」とあり、その際に〔共通事項〕である、形や色彩などがもたらす感情や全体のイメージを意識して表現に生かすこととしている。また(3)では、創造的な技能を働かせる場面で、自分の意図に合う新たな表現方法を工夫するときに形や色彩、材料の性質や、表現効果などを理解して工夫するなどの学習活動が考えられるとあり、自分の表したい感じが表現されているか常に表現を振り返りながら制作を進めることを重視するよう明記されている。

中学3年生の表現分野においては以上のように、主題を自ら生み出すことと、自分の意図に合う表現を行う際に、具体的な表現効果について考えていくことが重要となる。これまで、表現の題材において鑑賞は創意工夫を広げるために、様々な表現方法があるということに触れるために取り扱うことが多かった。そのため、一つの素材を扱い、生徒が想像した形に近づけていくといった表現を多く扱ってきた。

本題材は、着想を得るための媒体として鑑賞作品「A tale of the wood(2)」を設定し、その作品の鑑賞から感じ取ったことや考えたことを基に鑑賞作品への返答となる作品を生み出すといったものである。3年生となった段階で、主題を生みだしその実現に向かった構想や創造的な活動を工夫しながら改善し制作していくことや、多様な材料を組み合わせ自分の表現したいものを作り出す学習活動を行うことは、生徒自身の価値判断を高めることにつながると考え本題材を設定した。

#### (2) 生徒観

### (3) 指導観

以上のことを踏まえ、本題材は、主題の着想を得る媒体として共通の鑑賞作品を用意し、対話型鑑賞によって作品に登場するものや色や形から考えられることを生徒全員が共有する。また、鑑賞作品に対する返答作品としたことから、鑑賞作品は物語性のある作品を用意した。鑑賞作品から着想を得て、主題を生み出し表現の構想を練る場面があるが、鑑賞した際に考えたことや感じたことが主題の着想となる。主題を表現するために必要となる表現が、生徒の思考したものとの差異を少なくするために、協働の場を設定し様々な視点での意見を参考としながら表現活動を行えるようにしたいと考えた。

#### 【研究の視点】

##### 「やるべきことの納得」に関わる手立て (授業構成) A

授業構成として、共通する鑑賞作品を通し、鑑賞を深めたことを基に自らが表現したい主題を生み出し、主題を作品にするためにどのような材料や表現方法が適切かを判断しながら表現活動を行う構成とした。

互いに共通の鑑賞作品から着想を得て主題を生み出すことで、それぞれの「やるべきことを納得し、その中からやりたいことを見つける」場面を設定した。

##### 「やりたいことを見つける」に関わる手立て B

研究変数となる手立て B は、表現する過程で、既習事項を生かし表現されたものを、批判的に見る場を設定することで、他者の批評を基に構想を再度練る場面の設定とした。判断するためには「自分が構想から考えたことと作者のねらい」を照らし合わせる事が必要となる。今回の題材において、他者に伝わる作品である必要があり、作者が考えている構想が最善のものではなく、他者との交流を経てより良い構想へつなげなくてはならない。そのために、素材や色、対象の作り方で改善すべき点を述べることは、他者にとって構想を練るため重要な視点となる。そして、この手立てによって、『「やるべきこと」から、「やりたい事」をより明確化』することにつながるだろうと判断する。

#### 【協働】

本題材では、表現活動の主題を生み出すための着想を、共通の鑑賞作品とした。鑑賞において、鑑賞の内容を共有するために、相手の意見を基に自分の見方や考え方を広げていく学習活動を設定している。その後、共通の鑑賞作品を設定したことにより、主題から制作段階まで他者と関わりながら表現活動を行いやすい授業過程とすることにした。本題材において、他者と交流、共有し、批評し合う学習活動は根底になければならないものである。

【言語化】

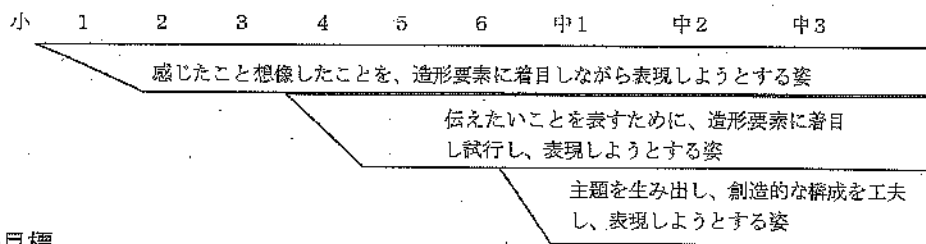
表現分野においても、作品をより良いものを目指していくときに言語に置き換え周囲と交流し、アドバイスを  
 得て試行していくことは大切な過程である。鑑賞において、互いに意見を交流し視点を広げる過程、作品か  
 ら着想を経て主題を生み出す過程、構想を練る過程において、言語を用いることによって、表現活動がより良  
 いものへと導くための手立てとなっている。

3 小中連携による研究とのかかわり

(1) 小学校との主な学習活動との関わり

1・2年	3・4年	5・6年	1年	2・3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたこと想像したことから表すために、好きな色を選んだり、形を考える。</li> <li>感じたことを話したり、聞いたりしながら、形や色、表し方のおもしろさ、材料の感じなどに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたこと想像したことから表したいことを見つけたり、形や色、用途などを考える。</li> <li>感じたことを話したり、話し合ったりしながら、形や色、表し方や材料による感じ方の違いなどを捉え、良さやおもしろさを感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことから表したいことを見つけて表すこと考える。</li> <li>感じたことを話したり、話し合ったりしながら、形や色、表し方の変化、表現の意図や特徴などを捉え、よさや美しさを感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え手創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。</li> <li>造形的なよさや美しさ、対象のイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫、主題と表現技法の選択や材料の生かし方などを感じ取り、自分の思いや考えを持って味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象を深く見詰め感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出し、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練る。</li> <li>形や色彩などの特徴や印象から全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。</li> </ul>

(2) 小中9年間に美術科で育む「自ら学ぶ意味を想像できる児童・生徒」の姿



4 題材の目標

鑑賞作品から対象の様子や表現を読み取り、着想を得て、自らが表現したいことを構想し、構成を工夫しながら創造的に表現することができる。

5 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞
ア鑑賞作品から感じ取ったことを基に、イメージを広げ主題を生みだし、主体的に表現の構想を練ったり、材料の特性を生かしたり制	ア対象を深く見詰め感じ取ったこと、考えたことなどから主題を生み出している。 イ主題から創造的な構成を工夫し、表現の構想を	ア自分の表現意図に合う材料の特性を生かし、表現方法を工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら創造的に表現している。	ア形や色彩などの特徴や印象などから全体を感じ作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り自分の価値意識を持って味わっている。


作しようとしている。	練っている。		
------------	--------	--	--

6 題材指導計画 (鑑賞3時間 表現5時間計画)


	学習事項	主な学習活動・	評価			
			関	発	創	鑑
手立てA 共通の鑑賞作品を基に主題を生み出し表現する授業過程						
1	鑑賞を通した作品の学習	○釧路市立美術館所蔵作品の市成太煌の「A tale of the woods(2)」を鑑賞する。 ・対話をしながら、作品に描かれている内容を読み取っていく。	ア			ア
2	作品の内容から考えたことをまとめる	○作品から読み取ったことをまとめ、作品から強く感じたメッセージや物語の続きを想起しながら返答作品の着想を得る。 ・描かれている対象であるフクロウ、植物、川、森林、太陽・月などに着目し、その描かれ方や表情などについて考えていく。		ア		ア
3	鑑賞作品への返答を考える	○鑑賞時のまとめた考えの内容を元に、鑑賞作品への返答となる表現について構想を考える。 ・作品から着想を得たことを基に、各自の表現へと結びつく主題を生みだし、アイディアスケッチをする。	ア	イ	ア	
4		○自ら考えた主題を基に、作品の構想を練る。 ・表現したいものを、どのような【形態、素材、方法】で表していくか考える。 ・他者の意見を参考にし、自分の考えをより深めていく。  手立て 考えた構想の表現を表すための手段についての妥当性について、批評的な視点でアドバイスをする。				
5	返答となる作品を制作しよう	○主題や構想を基に、材料を工夫しながら作品を制作する。 ・20cm×20cm×20cmの中に収まる作品として表現する。 ・色、対象の形や素材に着目しながら、どのような表現手段が最適か常に振り返りながら制作していく。	ア	ア	ア	
6						
7 8						
9	展示と鑑賞	○鑑賞作品と返答となる作品を釧路市立美術館に展示し、鑑賞をする。	ア			ア

7 1時間目の授業案【共通の鑑賞作品による鑑賞の内容について】

(1) 前時の(1/9時間目)展開 (○…発問,△…補助発問,□…指示,説明)

主な学習活動（下位目標）	教師の働きかけ・ 	【評価方法】・備考
1 市立美術館所蔵の作品「A tale of the woods(2)」を鑑賞するねらいについて理解する。	<input type="checkbox"/> 一枚の作品から、どんなことが感じ取れるか考えましょう。たくさんの事を読み取れるでしょうか。	【観察】
A tale of the wood(2)の世界に入ってみよう		
2 作品から読み取れることを交流しながら理解を深めていく。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【生徒の予想される答え】</p> <p>フクロウが2羽いる・月か太陽か            ・川が流れている・季節は春か            ・うっそうとした植物            ・さみしそう 等</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生徒の予想される考え】</p> <p>◆寒そうな色遣いであるため夜＝月ではないか◆片足をあげているフクロウ寄り添っているのでは◆左の植物は元気、フクロウは元気がない。            ◆川の流れを見ると水も少なく秋ではないか。◆フクロウの目が悲しげである</p> </div> 3 授業の取り組みを振り返ることができる。	<input type="checkbox"/> この作品には何が描かれているだろうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【作品を読み解くための視点】（返答につながる視点）            (1)対象 (2)色 (3)情景            【具体的な対象や色や情景に迫る視点】            ・フクロウの様子・川の流れ・天候や時刻・色の明暗            ・構図・筆のタッチ・作者の感情</p> </div> <p>△どんな様子に感じ取れるだろうか。            【対象の表現に関する補助発問】            △色の意味することはなんだろうか。            △暖かさ、冷たさ、湿度や気候について考えられることはなんだろうか。            △フクロウが地面に降り立っている様子から考えられることはなんだろうか。            △対象が表す意味はなんだろうか。            【作品の物語性について問う補助発問】            △フクロウはこれからどうなっていくだろうか。            △背景の森の置くにはどのような世界が広がっているだろうか。</p> <input type="checkbox"/> 作品から読み取れたことを次の時間まとめていきます。	【観察／作品】 ・生徒の発言に対して補助発問し見方を広げていく。  【観察／作品】 ・自己の見方を他者の意見によって広げていく。

(2) 本時の展開 4/9時間目 (○…発問,△…補助発問,□…指示,説明)

主な学習活動（下位目標）	教師の働きかけ・ 	【評価方法】・備考
1 前時の構想のカードについてできる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生徒の予想される答え】</p> <p>・自分の表現したいことが相手に伝わること。            ・形や素材で工夫出来る。            ・素材で受け取るイメージが違ふ</p> </div>	<input type="checkbox"/> 一枚の作品から、どんなことが感じ取れるか考えましょう。たくさんの事を読み取れるでしょうか。 △前回の授業で、展示することを想定し今回の作品で注意したいことは何ですか。  <input type="checkbox"/> みなさんの今回の表現の中で、人に伝えるために工夫出来ることには何があるでしょうか。	【観察】
<input type="checkbox"/> 自分の考えに近い構想をまとめ、answer artの準備をしよう		
2 構想カードにあるアイデアスケッチと素材に着目し、何を表現しようとしているか読み取るこ	<input type="checkbox"/> 構想カードのアイデアスケッチから、作者はどのようなことを表現しようとしているか考えてみましょう。	



(2) 本時の授業案

本時の(7/9時間目)展開 (○…発問,△…補助発問,□…指示,説明)

主な学習活動(下位目標)	教師の働きかけ	【評価方法】・備考
<p>1 制作をする中で表現に関する苦勞や悩んでいること手順について考えることができる。</p> <p>2 今日の制作で注意してつくりたいことを明確にする。</p> <div data-bbox="212 909 541 1115" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒の予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の色や表現について「魚のいるような川」のようにつくれるようにしたい</li> <li>・寂しげなフクロウの表情が出せるように工夫していきたい。</li> </ul> </div>	<p>○表現を進める中で、形や色で悩んでいることはあるだろうか。</p> <p>□途中経過を見せてください。</p> <p>【対象の表現に関する補助発問】</p> <p>△今日の制作では、どのような場所に取り組みますか。</p> <p>△作っていて、迷っていることはありますか。</p> <p>【作品の物語性について問う補助発問】</p> <p>△この作品はどのような作品に対する君の考えがあるのでしょうか。</p> <p>○今日の制作の中でどのようなことに注意して取り組みたいと考えていますか。</p>	<p>【観察/作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発言に対して補助発問し素材の表現効果に着目させる。</li> </ul>
<p>自分の考えが映し出せる作品になるよう制作しよう</p>		
<p>3 自分の制作手順を確認しながら表現していく。</p>	<p>□制作の途中経過を見てみましょう。</p> <p>△途中の段階で、自分の考えが伝わる作品につながるか班で相談してみましょう。</p> <p>△材料の扱い方で悩んでいるところはどんなところだろうか</p>	<p>【観察/作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の見方を他者の意見によって広げていくため、随時、他者との相談を重視する。</li> </ul>
<p>4 授業の取り組みを振り返ることができる。</p>	<p>△今日の取り組みで考えたことや改善点はどんなことですか。</p>	